

# ⑤ 人と文化が ふれあうまち

人のふれあいを求める市民のために

## まちづくりの

### 指針

本市独自の歴史文化・伝統を大切に守りながらも、それらを現代の生活に溶け込ませ、観光資源としても積極的に活用し、地域・国籍を越えてさまざまな人がふれあい、交流できるまちづくりを進めます。



実現のための  
 まちづくりの  
 方向性

- 1 新旧の文化を守り育むまちづくり
- 2 多くの人との交流を進めるまちづくり

## 1. 新旧の文化を守り育むまちづくり

### 現状と課題

本市では、これまでも藤原宮跡や大和三山等の歴史文化遺産や今日まで受け継がれてきた文化を大切にしてきましたが、その活用を進めることや、市民や日本全国、世界へのPRは十分ではありませんでした。

また、生活水準の向上や余暇の増大等により市民一人一人が文化にふれあう機会を拡大する必要性が高まっています。

### 市役所の役割

#### ○文化財の活用

- ◆本市に存在する貴重な史跡・文化財・町並み・古道を保全し、市民生活の中に歴史文化遺産を活かします。
- ◆広域的な連携をとりながら、藤原宮跡、大和三山等の歴史文化遺産の整備の促進を図り、世界遺産への登録を推し進め、国内外へと発信します。

#### ○文化活動の推進

- ◆音楽、演劇等の紹介や参加・発表の場の提供等を行い、市民の文化活動を支えるとともに、地域の伝統行事を橿原の文化資産として次世代に引き継ぎます。

### 市民への期待

市民には、地域の伝統的な文化に関心を持ち、後世に伝えていくとともに、さまざまな新しい文化活動を展開していくことが期待されます。

## 2. 多くの人との交流を進めるまちづくり

### 現状と課題

国際交流や地域間交流が、一部の市民の交流にとどまっていることから、市民全体での交流を促すことが課題となっています。

また、藤原宮跡や大和三山、今井町等の資源を活かした観光振興を進めてきましたが、観光客数が伸び悩んでいる現状から、「ゆっくり、じっくり楽しめる」滞在型観光への発展や市全体で「もてなす」環境を整えることが課題となっています。

### 市役所の役割

#### ○国際交流・地域間交流の推進

- ◆国際都市を目指し、また、市民が国際社会の一員として国際的な感覚を身に付けられるよう、自国の文化をより深く知る機会やさまざまな交流の場を提供します。
- ◆地域間交流・異文化交流により、本市独自の文化を発信し、人・物・文化の交流を行います。
- ◆全国規模の大会・イベント等を誘致し、本市の魅力をPRすることにより、より多くの人々が訪れるまちを目指します。
- ◆中南和の拠点都市として、国際交流・地域間交流の中心としての都市機能の整備を進めます。

#### ○観光の振興

- ◆観光客の利便性を高めるため、観光の玄関口の整備及び案内看板を設置する等、受入れのための施設の整備を進めます。
- ◆県や近隣市町村、各関係団体と連携協力を行い、観光ネットワークの形成を推進し、滞在型観光の振興を図ります。
- ◆土産や特産品等の開発を支援し、育成します。

### 市民への期待

市民には、本市を訪れる人をもてなしの心で迎えるとともに、積極的に異文化とふれあう機会を増やす等、市民レベルでの交流を進めることが期待されます。